

令和8年度 前期日程

「小論文（国際学部国際学科）」の出題意図

この問題は、国際学部の多様な専門分野に直接的・間接的に関係する国際援助を話題とする。記事はいわゆる先進国が途上国に対して行う援助活動を、目的と理由の観点から、非常に簡明に類型化しており、解答者には、提示された類型を活用して、自身を知る具体例を適切に記述し、評価することが求められる。また、自身の属性を相対化して捉えなおし、立場が変われば活動の意義も変わり得ることに気づいてもらったうえで、援助活動の意義づけを他者にもわかるように論じることが求められる。

評価の基準：

1. 著者の説明を理解し要約できているかどうか

著者が提示する4つの理由それぞれについて、そのような理由付けを可能にしている背景を含めて、的確に理解しているかどうか。日本の開発援助を自分の問題として考えることが重要だとする著者の主張、及び、地球人であるという属性を重視して地球のためになることをしようという著者の提案を、しっかりと捉えられているかどうか。

2. 具体的な事例を根拠として、自身の議論を論理的に展開できているか

解答者自身が政府開発援助に賛成の立場であるか、あるいは、反対の立場であるかによらず、仮にそれが「いいこと」であるという前提に立った場合に、どのようなことが言えるのかを、具体的、かつ、論理的に、言い表すことができているかどうか。